

議会・一般質問報告

◆中小企業の自立・成長を促す支援

【宮沢議員】

リーマンショック以降厳しい経営を迫られて、倒産や廃業等により中小企業の数は減少を続けている。これにより、県内経済は県民総生産の減少、雇用者数の減少を余儀なくされている。またアジアの競争力の高まりにより、ぎりぎりの経営を迫られている中小企業



に、県でも資金繰りの支援など緊急的な経済対策を講じているが、今後も自立、持続的成長の支援が必要と思う。県ではどのような支援を考えているか伺う。

【経済産業部経営支援課】

県としては次世代産業への参入を支援するため、本年度100回超のセミナーや技術講習会を開催した。また、30回超の展示会への出店支援も実施する。他に中小企業診断士などの専門家の派遣などを実施。経営革新計画の承認件数は8月末で前年同期比144%の158件。9月補正予算で専門家派遣の予算拡充を語っている。商工会や商工会議所の経営指導員が直接企業を訪問、アドバイスができるよう支援していく。

◆若年層の就職対策

【宮沢議員】

本県7月の有効求人倍率は0.49倍、全国の完全失業率も5.2%、34歳未満が4割を占め、131万人の若者が失業中。正規の職に就けず社会への第1歩も踏み出せない状況は大変憂えるべき事態。県は就職していない若者をどう支援していくのか。

【交通基盤部農地計画課】

県でも若年層の就職支援は喫緊の課題であると認識している。若年失業者やフリーターと県内の企業との

2010年9月議会
質問に立つ宮沢県議



マッチング機会を提供するための就職面接会を県内3箇所ですと9月に実施、求人開拓員を増員し企業を直接訪問しての求人掘り越しをしている。県内3箇所にある「ヤングジョブステーション」では就職サポーターによるカウンセリングやセミナーを開催。また国の「地域若者サポートステーション」と連携し緊急雇用創出事業を活用しての二つの就労体験事業を実施。今後も関係機関と連携し、就職支援に取り組む。

◆農業振興（土地改良事業）

【宮沢議員】

静岡県の一戸当たりの経営耕地面積は全国平均の58%と小規模で、農地も分散、急傾斜地や農道の未整備地域も顕在化し、土地改良事業の必要性を実感している。生産性の高い農業生産と活力ある農村社会の建設のための土地改良事業こそ、日本の農業振興施策の柱とすべきである。県はどのように土地改良事業に取り組むのか。

【交通基盤部農地計画課】

「静岡県農山村整備みらいプラン」に基づき農業経営の高度化を可能とする区画整理や畑地かんがい施設等の整備を進めてきた。産地間競争が激化する中、基盤整備や農業水利施設の計画的保全や更新が急務で、今後茶やみかんなど、本県の基幹作物の競争力強化に



に向けた基盤整備や、基幹的な農業水利施設の監視・診断、ストックマネジメントの重点化等、土地改良事業を効率的かつ効果的に推進していく。

「三島大吊り橋」(仮称) 日本最長400mをめざす!

富士山・駿河湾の眺望抜群! 三島市観光誘客に大きな力!!

三島市菅原新田の国道沿いに計画、沢をまたぎ、山林の中腹を400mで結ぶ。今後は三島市、箱根山組合、地元地権者、関係機関と協議し、理解が得られれば3年後の完成を目指していく



計画概要

- 種別 “日本一長い”三島大吊橋事業
- 事業体制 (株) J-開発事業部
- 区域面積 約40,000㎡(12,000坪)
- 暫工予定 平成23年11月(予定)
- オープン 平成26年4月(予定)
- ※東駿河湾環状道路が平成25年度完成予定
- 入場見込 年間200万人(入場料500円予定)